

地方公共団体における 効果的な 熱中症予防対策の推進に係るモデル事業

日時

令和3年

11月9日(火), 10日(水) 13:00-14:40

方法 オンライン (Web Ex Event)

環境省では、熱中症対策を社会全体へ定着させるために、「自助」「共助」の後押しを含め、より包括的・体系的に熱中症対策を実施する「公助」の取組を推進するため、令和3年度より「地方公共団体における効果的な熱中症予防対策の推進に係るモデル事業」を実施しています。事業の成果や各地方公共団体の熱中症対策等の有益な情報に加えて、本年度より全国展開している熱中症警戒アラートに関する組織体制・取組等を全国の地方公共団体の皆様にいち早く届ける事で、地域における熱中症対策を促進させる事を目指しています。

申し込みは [こちら](#)

参加登録期限：11月7日(日) 17:00

URL : <https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=o0y5q6zuEEiCnb0bPfdS16ENYRHux9Pp69yHBI3fWBUQ1JNMVJLRk9OU1NLRUM1RFk3WTNTNjJE0C4u>

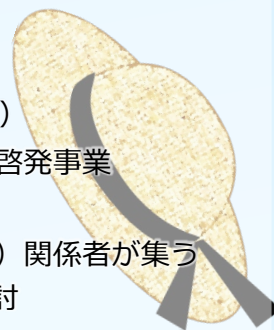
※ 1日目、2日目のみ、一部のみ参加も可能です。申込フォームで参加を希望する日を選択してください。

1日目 11月9日(火) 13:00 開会

- 13:05 政府の熱中症対策について (環境省)
- 13:15 「熱中症を正しく恐れる」土壌を整えるモデル事業 ～山村編～ (群馬県 上野村)
- 13:35 多治見市民が熱演する 熱中症予防啓発ドラマ制作&配信事業 (岐阜県 多治見市)
- 13:55 熱中症を市民へ意識づけることを目的とした熱中症リスク低減に向けた取り組み (静岡県 浜松市)
- 14:15 暑さ指数(WBGT)を活用した熱中症予防対策 (京都府)

2日目 11月10日(水) 13:00 開会

- 13:05 暑さ指数(WBGT)の「見える化」で熱中症を予防
～見せて、伝えて、気をつけて～ (東京都 豊島区)
- 13:25 高齢者の意識と行動を変える！かわさきの熱中症予防啓発事業 (神奈川県 川崎市)
- 13:45 熱中症リスクの高い(高齢者・クラブ活動・運動施設)関係者が集うプラットフォームを設置し、効果的な熱中症対策の検討 (大阪府 吹田市)
- 14:05 アプリによる市民への注意喚起と行動の促し (福岡県 福岡市)
- (14:25 政府の熱中症対策について(環境省) 1日目と同じ内容、参加者の状況に応じて)



【各自治体の事業概要】

1日目 11月9日(火) 13時～

群馬県
上野村

「熱中症を正しく恐れる」土壌を整えるモデル事業～山村編～

高齢者を中心に「熱中症を正しく恐れる」ことが課題であり、エアコンの設置や使用等が困難なことが課題を複雑にする。個々に熱中症リスクを評価して2つのグループに分類し、ハイリスク者へは居宅訪問によるピンポイント支援を行う。

岐阜県
多治見市

多治見市民が熱演する 熱中症予防啓発ドラマ制作&配信事業

より多くの市民への熱中症に関する啓発が課題である。市民アンケートにより熱中症リスクを評価するとともに、地元誌への記事掲載や、熱中症予防対策に関するドラマの作成及びYouTubeでの動画配信、アツイまちサミットでの活動紹介によって、広く熱中症対策に関する情報発信を行う。

静岡県
浜松市

熱中症を市民へ意識づけることを目的とした熱中症リスク低減に向けた取り組み

熱中症の危険性を市民に意識づける熱中症対策啓発活動を実施することが課題である。過去の熱中症搬送者のデータ分析及び将来の気候変化の予測結果に基づく影響評価により、熱中症リスクの評価を行うとともに、講演会や、熱中症対策による市街地活性化等の啓発活動を実施する。

京都府

暑さ指数(WBGT)を活用した熱中症予防対策

状況別の熱中症リスク評価や、暑さ指数(WBGT)の周知・活用、熱中症の重症化防止のための啓発、高齢者への啓発等が課題である。熱中症搬送データの分析及び地域特性、活動場所等を考慮した暑熱環境調査による熱中症リスクの評価を行い、暑さ指数(WBGT)の活用や高齢者への普及啓発強化を図る。

2日目 11月10日(水) 13時～

東京都
豊島区

暑さ指数(WBGT)の「見える化」で熱中症を予防 ～見せて、伝えて、気をつけて～

一人暮らし高齢者の世帯割合が全国で最も高く、高齢者等への熱中症対策を強化していく必要がある。区民ひろば等で暑さ指数(WBGT)のデータを収集し、エリアや時間等による熱中症リスクを評価する。暑さ指数(WBGT)に応じた注意喚起、セミナー等の啓発活動や、効果検証等の対策を実施する。

神奈川県
川崎市

高齢者の意識と行動を変える！かわさきの熱中症予防啓発事業

本市の熱中症救急搬送の高齢者の割合は増加しており、高齢者の生活圏で伝わりやすい媒体・形式によって熱中症予防啓発を実施する必要がある。町内会会議やイベント等で普及啓発するとともに、アンケート、高齢者住居における暑熱調査、及び将来分析によりリスク評価し、効果的な取組に繋げていく。

大阪府
吹田市

熱中症リスクの高い(高齢者・クラブ活動・運動施設)関係者が 集うプラットフォームを設置し、効果的な熱中症対策の検討

搬送者データをもとに熱中症リスクの高い集団(高齢者・クラブ活動・運動施設)を抽出し、関係者間で協議するプラットフォームを設け、アンケート等をして、効果的な啓発方法を検討する。また、市内の小学校29校で気温等の調査をし、熱中症リスクの高い場所等を可視化して、効果的な対策につなげる。

福岡県
福岡市

アプリによる市民への注意喚起と行動の促し

熱中症予防には予防行動の気づきとなる「暑さ指数を活用したタイムリーな注意喚起」が有効だが、テキスト情報のみで「分かりやすさ」に課題があった。今般、熱中症リスクの高い高齢者にも直感的に伝わるよう既存アプリでの配信内容やデザインを改善し、新たにウォーキングアプリで情報提供を開始した。